

みんなで柿の木を植えよう・描こう

この度、開館40周年を記念して「時の蘇生・柿の木プロジェクト」を実施します。これは、現代美術家の宮島達男氏が1995年より行っている被爆柿の木2世を植樹するアートプロジェクトです。当館ではワークショップとして植樹式“Meet the KAKI”を実施します。

ワークショップでは、美術館裏山に柿の苗木を植樹した後、柿の木が育ち、10年後に実をつけた姿を想像しながら、みんなで大きな柿の木を描きます。どのぐらいの大きさに育っているかな？美術館裏の森の中に生えている柿の木を見て、幹や枝ぶり、季節の葉の様子などを観察しながら描いてみましょう。

「時の蘇生・柿の木プロジェクト」とは？

「被爆しても生き続けた柿の木の苗木を世界中の子どもたちに育ててもらうことで、どんなことがあっても負けない命の強さ、平和の大切さを知ってもらうアートプロジェクト（時の蘇生 柿の木プロジェクト HP、子ども向けQ&A集より引用）」

4月29日(水・祝)

時間 11:00~16:00

場所 静岡県立美術館実技室、当館裏山

対象 小学校高学年（4・5・6年生）

定員 10名

材料費 無料

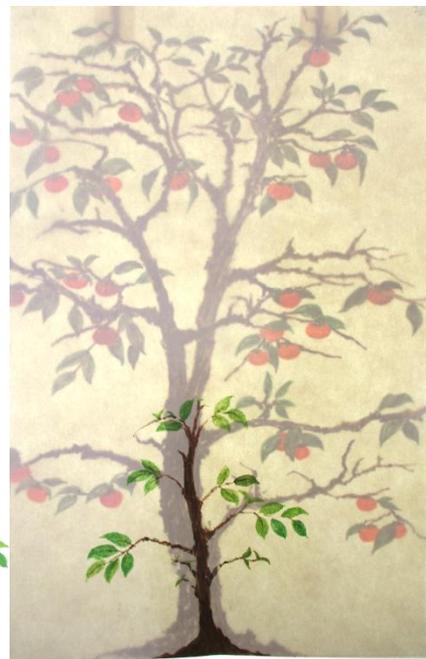
持ち物 昼食、飲み物、帽子

汚れても良い動きやすい服装・靴でお越しください。

みんなで柿の木を植えよう
10年後にまた集まろう

みんなで大きな紙に柿の木を描こう
作品は美術館に展示するよ

- * 10年後に成長祝祭“The Harvest of KAKI”を開催しますので、ご参加をお願いいたします。
- * 当日の天候等によっては、美術館内のみの活動になる場合があります。
- * 体調がすぐれない場合、ご参加を控えていただきますよう、お願いいたします。
- * 保護者の皆様へお願い
本ワークショップは子どもたちのみで活動します。保護者の方が送迎される場合は、送りは11時に、迎えは16時頃に、実技室へお願いいたします。



参考作品：楡木 令子 氏

講師 楡木 令子 氏 / にれき れいこ 氏（美術家・こどものじかん主宰）



静岡県東伊豆生まれ・国立ベルリン芸術大学彫刻学科修士課程修了。和紙、再生パルプを使い、平面、立体、インスタレーション作品を制作する美術家。アーティスト・イン・レジデンスプログラムをベースに、ドイツ、フィンランド、イギリス、台湾、インド、ブラジル、アメリカ等で、滞在した土地、出会った人々から inspire される制作活動を続けてきた。国内外で出会ったアーティスト達とのプロジェクトを企画、近年はアートと地域を繋げるプログラムの企画も手掛けている。こどもに作る楽しさを伝えるキッズアート「こどものじかん」主宰。ふじの国子ども芸術大学より助成を受け、SPAC-静岡舞台芸術センターの俳優と共に、劇作りワークショップ「こどもとアートの森」を実施している。
<http://www.nireki.com>

○お申込み・お問合せ先 ○

下記のいずれかの方法でお申込みください。
定員を超えた場合は抽選となります。

● FAX ● 郵送

● 実技室ポストに投函 ● WEB から申込み

県美 HP アドレス：<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 学芸課 実技室 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2 TEL:054-263-5857 FAX:054-263-5742

※共催 静岡県立美術館友の会

申込受付期間：3/26（木）～ 4/6（月）必着

抽選結果：4/7（火）以降、メールまたはお電話にて
抽選結果を順次お知らせいたします。

※上記受付期間内にお申込みが定員に満たなかった場合は、以後、先着順にて
受付いたします。



WEB申込みはこちら

お申込み用紙

みんなで柿の木を植えよう・描こう

4月29日(水・祝)

ふりがな
お名前

該当学年に○をつけてください
(小学校 4・5・6年生)

お電話番号

— —

ふりがな
お名前

該当学年に○をつけてください
(小学校 4・5・6年生)

メールアドレス

連絡のつきやすい時間帯

時頃

* 定員を超えた場合は抽選となります。

* ご記入いただいた個人情報は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません。